

流域連携における県の考え方と役割について

◆ 流域連携の活動

流域連携の活動は、「参画と協働」のもと、地域住民による河川に係るボランティア活動^{注1)}を基本として、地域住民、団体、企業、行政が連携して川づくりを行っていくものと考えます。

◆ 流域連携の活動における役割分担

地域住民 活動の主体

団体 活動の主体、ネットワーク化等の支援

企業 活動の主体、活動の支援

行政 活動の支援・推進

行政による支援・推進の内容【例示】

(1)情報の提供・共有

- ・河川関連の情報、活動団体の情報

(2)機会の確保

- ・出前講座、環境学習会

(3)交流の促進

- ・ひょうごアドプト^{注2)}による支援

(4)啓発活動

- ・広報誌、パンフレット、インターネット、講習会、イベント

(5)場の整備

- ・川とのふれあいの場、環境学習の場等の整備・保全

注 1) ボランティア活動

自発的に、自分の意志に基づいて、環境問題など、私たちの生活を巡る課題を、自分とのかかわりで主体的にとらえ、その解決や支援のために一市民として参加する活動

注 2) ひょうごアドプト

兵庫県が管理する道路・河川・海岸などの公共物の一定区間と清掃美化活動などを行うボランティア団体(住民や企業)とが、団体、県、市町の三者による合意書の締結により「養子縁組(アドプト)」し、参加団体は担当地区の清掃美化、草刈り、植栽などを行い、県は地域の状況に応じて、参加団体などを表示する看板の設置や、ボランティア保険への加入、軍手・ゴミ袋の支給、活動の広報等の支援をし、地域への愛着心を深めるとともに、新たなコミュニティの形成を促進し、いきいきとした地域づくりを目指す制度

【各種助成金等】

阪神南地域づくり活動応援事業（阪神南県民局）
阪神北地域づくり活動応援事業（阪神北県民局）
武庫川流域環境保全活動補助金（武庫川流域環境保全協議会）
ひょうごボランティア基金県民ボランティア活動助成（ひょうごボランティアプラザ）
ハッピーシェアプログラム LUSH チャリティバンク（株）ラッシュジャパン）
TOTO 水環境基金（TOTO株）
ボランティア NPO 支援事業（（社）兵庫県共同募金会）
瀬戸内海環境保全活動助成事業（兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会）
環境活動・研究助成（（財）イノ環境財団）
河川整備基金助成事業（（財）河川環境管理財団）
地球環境基金助成金（（財）環境再生保全機構）
環境市民活動・地域美化活動助成（セブン・イレブンみどりの基金）
緑のデザイン賞（（財）都市緑化基金）
環境市民団体助成事業（日本旅行業協会 JATA 環境基金）
環境 NPO 助成（（財）日立環境財団）
助成（（財）大阪コミュニティ財団）
ひょうご環境保全創造活動支援助成金（（財）ひょうご環境創造協会） など